

施工説明書 施工業者様用

直張り接着工法用
グランドフローリング 無垢ピノアース
L-45(遮音フローリング)

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願いします。
製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いづれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

安全上のご注意 (安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください。)

施工に関して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。

<p>禁止</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内専用。 屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進む原因となります。 ・ピアノ・大型冷蔵庫等重量物の直置き禁止。 床材が沈み込むおそれがありますので必ずインシュレーター等を使用してください。 ・床暖房施工禁止。 本製品は床暖房対応の床材ではありません。床暖房の施工はしないでください。 	<p>必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・油性・水性ワックスの使用禁止。 油性・水性ワックスはすべりやすくなる為、当社推奨の樹脂ワックスを使用してください。 ・自然塗装製品は水分厳禁。 自然塗装製品をお手入れする際などに、水は絶対に使用しないでください。毛羽立ち、白化、シミ等の原因となるおそれがあります。 ・モルタル下地以外の施工厳禁。 本製品はモルタル下地専用です。合板、MDF、パーティクルボード、遮音マット等の下地や二重床・既存の床の古い張り等への施工はしないでください。実折れや割れの原因となります。
---	---

注意! フロアコーティングは推奨していません。
推奨ワックスをご使用ください。(フロアコーティングは、はがれ・床鳴り等の不具合を発生させることがあります。)

施工の前に確認してください。

① 製品の確認 (数量不足・損傷等)
数量に不足及び損傷等の問題が無いかどうかを確認してください。当製品は木質製品です。
輸送中・施工中の水濡れは厳禁です。また開梱後は速やかに施工してください。

② フロアへの仮並べで色合わせ
床材は木材のため、色や木目・溝部分に多少の違いが出ることがあります。施工前に全部の梱包を開いて色合わせをしてください。

③ 指定接着剤の確認
●ウッドワン専用接着剤
【品番:ZX0211】ウレタン系一液接着剤(クジヨコ同梱)

※上記の接着剤からお選びください。
※酢酸ビニル系(白ボンド)・アクリル系エポキシ樹脂などの水性系接着剤は使用しないでください。

施工手順

- 1 下地の確認
- 2 フロアへの割り付け・墨打ち
- 3 接着剤の塗布
- 4 張り施工
- 5 養生

施工終了後の仕上げ

〈梅雨時期の湿度対策〉
施工現場にて開梱後は養生期間をおかずに速やかに、施工してください。開梱後の製品吸湿には十分注意して施工をお願いします。

特に遵守して頂きたい施工上の注意事項 下地の凸凹の影響を受けやすく、実が折れる、無垢の柎目に沿って割れる等の不具合が発生する場合があります。

下地の確認 → 接着剤の塗布 → 張り施工 → 張り始め、張りしまい → 2枚目以降

<p>不陸・段差は無くして平滑に!</p> <p>× メス実の上アゴでの割れが生じるおそれがあります。</p> <p>× 不陸・段差</p>	<p>指定の接着剤を必ず使用</p> <p>! 指定以外の接着剤を使用した場合</p> <p>× 接着剤による段差ができ、実折れや割れの原因となります。</p> <p>※粘度が高く、床材を上から押し付けて施工しても接着剤があまり潰れず「段差」になるため。</p>	<p>壁・敷居・下枠・サッシなどとの間に隙間をつくる</p> <p>! 隙間なしで張り込んだ場合</p> <p>× 吸湿した際に突き上げが起こり、割れやすくなります。</p> <p>※木質フローリングは、水分の吸湿乾燥によって伸び縮みするため、3~5mmの隙間が必要です。</p>	<p>たわみ防止材として同梱の際根太を使用</p> <p>※幅91mmの場合</p> <p>敷居側 敷居</p> <p>20mm程度</p> <p>敷居側に際根太を入れる</p> <p>※幅91mm未満にカットした場合</p> <p>敷居</p> <p>20mm程度</p> <p>次のジョイントまで際根太(板材)を入れる</p> <p>! 幅をカットし、際根太を片方のみ入れた場合</p> <p>× 片方のサネの下に負荷がかかり割れやすくなります。</p>	<p>できるだけずらすずサネを差し込む</p> <p>! 2枚目以降をずらすすぎた場合</p> <p>× サネ部にノリダマリができて歩行感が硬くなり、割れやすくなる</p> <p>2枚目以降ずらしながら貼り込むと</p> <p>× ノリダマリができる</p>
--	---	--	---	--

1 下地の確認

十分な乾燥の後、施工する

RC構造などの床下が完全防水の場合、下地材・床下等がひどく濡れた状態で施工すると、施工後の床材に伸びや膨れ・変色やカビの原因となるおそれがあります。床下地や床下が雨で濡れると乾燥するまでに時間を要します。
※屋根工事が終わるまではビニールシート等で濡れないように保護してください。

乾燥の目安
打設後、夏季で3週間、冬季で4週間以上

モルタル下地の場合

① **モルタル含水率が10%以下であることを確認** モルタル含水率計を使用

含水率10%以上の場合
✗ **接着不良や床材の反り・突き上げ・変色等が生じるおそれがあります。**

モルタル含水率計を使用しない場合
ビニールシート(1m×1m)でモルタル表面を覆う
布テープ止めで被覆密閉する
※油污は滑剤で拭き取ってください。
24時間後 表面が変色せず、ビニールシート裏面に結露が発生していないことを確認してください。

② **モルタル表面の付着物の除去**

除去が困難な場合セルフレベリング材などで平滑にしてください。

③ **部分的な起伏・モルタルの浮き・亀裂がないことを確認**

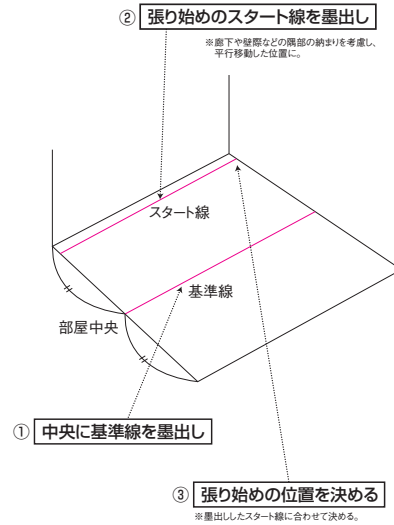
不陸は1mあたり3mm以内
※これより大きくなると踏み鳴りや接着不良のおそれがあります。

✗ **メス裏の上アゴでの割れが生じるおそれがあります。**
✗ **不陸・段差**

ALC(軽質気泡コンクリート)下地の場合

ALC板は表面がもろく、施工後、床材はがれるおそれがあります。ただし、モルタル等で下地調整して下地処理を行った場合は施工が可能です。
※クッションフロアの上には施工できません。
※合板・パーティクルボード・MDF・畳用マット等の下地および二重床・既存の床への追い張り等へのご使用はできません。

2 フローアの割り付け・墨打ち



3 接着剤の塗布

① 接着剤の塗布

当社指定のウレタン樹脂接着剤を使用
粘度が高く濡れやすいため不陸・段差になりにくい接着剤です。
接着剤はよく混ぜてから使用し、**塗布後30分以内**に床材を施工してください。

指定以外の接着剤を使用
✗ **接着剤による段差ができ、裏折れや割れの原因となります。**
※粘度が高く、床材を上から押し付けて施工しても接着剤があまり濡れず段差になります。

② **同梱の専用タジ目コテを使用**
※400~500g/m²(約30cm²/20gあたり)

✗ **専用タジ目コテを使用しない場合**
✗ **不陸、ホコリ、ゴミなどがある**
✗ **接着剤が多すぎる**
踏み鳴りやフローア表面にはみ出します。直ちに濡れ巾または滑剤等で軽く拭き取ってください。※硬化後ではできませんので注意してください。

4 張り施工

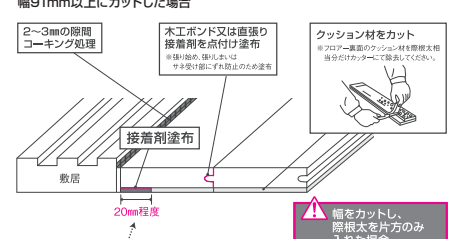
① 壁際の納まり

床材周囲の壁・敷居・下枠サッシ下などとの間に
巾木下隙間を3~5mm程度あける

隙間なしで張り込んだ場合
✗ **吸湿した際に突き上げが起こり、割れやすくなります。**
※木質フローリングは、水分の吸湿乾燥によって伸び縮みするため、3~5mmの隙間が必要です。

② 隙根太の設置

上り框、敷居等との突き付け部分には、段差・隙間が発生するのを防止するため、必ずたわみ防止材として同梱の隙根太を使用してください。また、隙根太と床材は接着剤で固定してください。
〈上り框、敷居等との突き付け部分〉
幅91mm以上にカットした場合



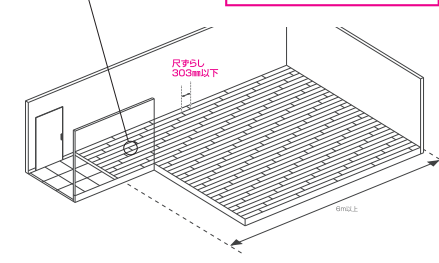
張り始め、張りしまいのサネ下部は敷居側に隙根太を入れる
※段差・隙間の発生防止のため、必ずたわみ防止材として同梱の隙根太を使用してください。

※幅91mm未満にカットした場合
隙根太を片方のみ入れた場合
✗ **片方のサネの下に部分的に負荷がかかり割れやすくなります。**

③ 張り施工

フローアの施工はゴムハンマーを使用し、フローア表面を軽く叩いて、軽く突く程度にサネをはめてください。不陸等によりサネが入りにくい場合には、再度、ゴムハンマーで軽く締め直してください。
※踏み鳴りの原因となりますので釘は絶対に使用しないでください。

2枚目以降、すらしながら貼り込まない
✗ **2枚目以降をすらしすぎた場合**
✗ **サネ部にリダマリができて歩行感が硬くなり、割れやすくなる。**



5 養生

① 別売の養生テープ(ZYD211)を使用

木屑・砂・ごみを取り除いてダンボール・ベニヤ・養生カバー等で隙間なくカバーし、フローアが動かないように養生してください。なお、養生に使う段ボールや、ボードは濡れないことを確認するとともに、濡れないような配慮をお願いします。

✗ **市販のガムテープ・粘着力の強い養生テープを使用した場合**
✗ **塗膜の剥がれの原因になります。**

養生期間中、暖房機器の使用不可

✗ **暖房機器を使用した場合**
✗ **フローアのサネ接続部の隙間発生などの原因。**

〈養生テープのはかし方〉



施工終了後

汚れ落とし
ほこり、小さな汚れを乾いた布で乾拭してください。水拭きを行なう長期の間に割れが発生することがありますので、避けてください。ただし、汚れのない場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた雑巾を軽く絞って拭いてください。

美観作業上のお願
美観作業中におかれましては、下記のとおりワックス塗布の注意事項について十分注意して作業してください。
※コロロソには、水や洗剤を撒き過ぎないでください。変色や、床材の割れ(亀裂)の原因になります。
※ポリリナーには、柔らかい布もご使用ください。表面のキズの原因になります。
※自然乾燥時には必ず裏面に貼り付けてください。裏面に、目印・位置の間違いとなるおそれがあります。